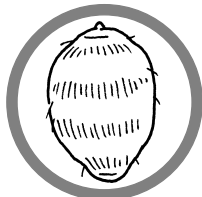


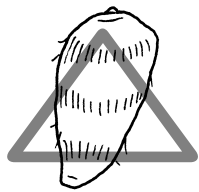
# サトイモ

## 1 種イモの選び方

種イモはふっくらして形の整った、芽が傷んでいない健全なものを選びます。重量は、40~60gが良いでしょう。



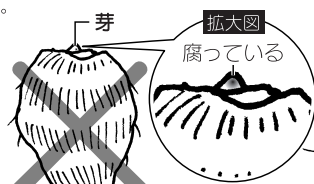
ふっくらと丸みを帯び、中身が充実しているものを選び。



中身が充実せず、貧弱。



傷がついている。

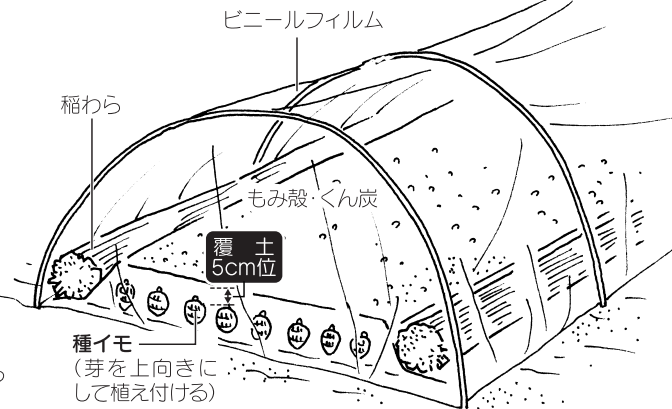


軟腐病にかかって芽の部分が腐っている。

## 2 芽出し(催芽)

芽出しをせず直接植え付けるのも良いですが、芽出しをして植え付けたほうが、生育が早まり失敗が少ないです。

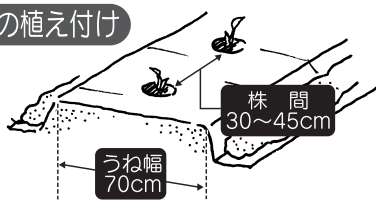
**芽出し** 土壌は乾きすぎないように、時々かん水をしましょう。



## 4 植え付け

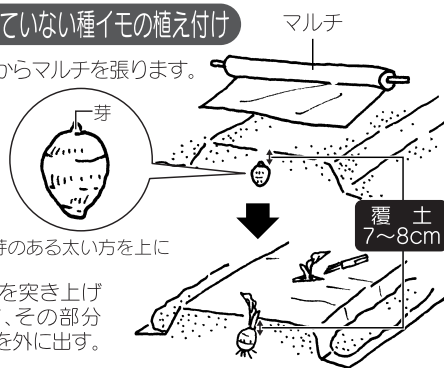
**芽出した種イモの植え付け**

穴あきマルチの場合はそのままその穴へ、穴なしマルチの場合は、ほどよい穴をあけてから、芽の出た苗を植え付けます。



**芽出しをしていない種イモの植え付け**

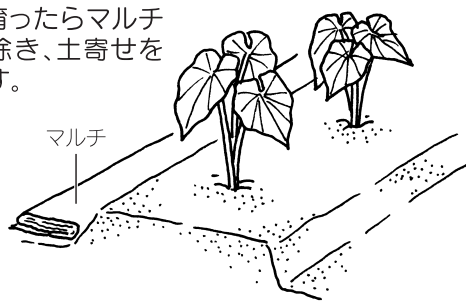
植え付けてからマルチを張ります。



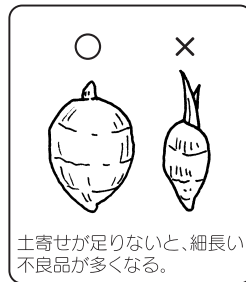
芽がマルチを突き上げてくるので、その部分を切って芽を外に出す。

## 5 土寄せ

大きく育ったらマルチを取り除き、土寄せを行います。



子イモから出た芽は、土寄せの時に倒して土で埋めます。



## 3 畑の準備

**土作り**

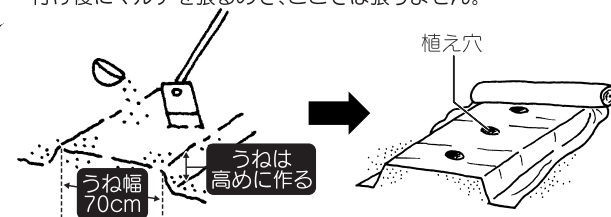
植え付けの2週間前までに苦土石灰、堆肥をまき深く耕します。

**土作り** 苦土石灰: 1㎡あたり100g  
JAファーム有機堆肥: 1㎡あたり2~3kg



**元肥・うね立て・マルチ張り**

植え付けの1週間前までに元肥をまき、うね立てを行いマルチを張ります。※芽出しをしていない種イモを利用する場合は、植え付け後にマルチを張るので、ここでは張りません。

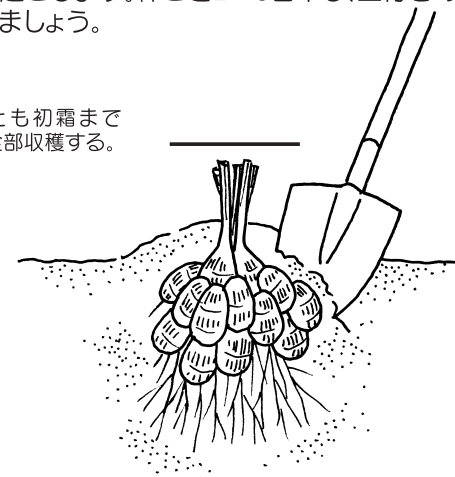


**元肥** JAファームいも専用肥料: 1㎡あたり110~130g(ひと握り約40~50g)

## 6 収穫

茎を切り取り、根元から離れた所をスコップ又はくわで掘り起こします。株ごと2~3日干し、土付きのまま保存しましょう。

※遅くとも初霜までには全部収穫する。



|      |          |
|------|----------|
| 科名   | サトイモ科    |
| 原産地  | マレー半島    |
| 連作障害 | あり(3~4年) |

制作 JAファーム 専門部会  
(無断転載禁止)